

2. 共通教育科目

1) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の基本方針）

短期大学のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき共通教育科目のカリキュラムを編成する。

- (1) 本学の建学の理念である「キリスト教的価値観」「キリストのみ心にかなう人間愛」を学修するために、「建学の精神」科目として、両学科共通の必修科目「人間学」「キリスト教概論」を設定する。
- (2) 共通教育科目は、幅広い学問的教養や深い洞察力を身につけることで総合的な社会的素養、豊かな人間性を目指すものであり、「現代教養科目」「コミュニケーション・スキルズ」「スポーツと健康」「学外活動認定科目」の分野で構成する。
- (3) 各学科の専門教育に携わる教員が共通教育科目も担当し、専門的・実学的教育および社会のニーズに対応できる教養との融合を視野に入れた授業を提供する。
- (4) 学外活動認定科目においては、海外研修、ボランティア活動、国際交流活動による単位認定もを行い、学生が地域社会、国際社会において積極的に学びを体験できるようにする。

2) 科目区分

共通教育科目は、科目の特徴、目標から次の分野に区分されている。

区 分	ナンバリング（上2桁）
(1) 「建学の精神」科目	61
(2) 現代教養科目	62
(3) コミュニケーション・スキルズ	63
(4) スポーツと健康	64
(5) 学外活動認定科目	68

このような分野による選択学習は、高等学校までのいわゆる5教科を中心とした学習とは大きく異なる。それぞれの分野、あるいはここで開設されている科目いずれもが、今後の生き方、職業、生活設計等に何らかの形でつながっているからである。

したがって、どのような科目を履修するかは、まず第1に各自の興味や関心による選択となるが、ぜひこれまでの自分自身の学習歴（高等学校での選択コースや選択科目）を振り返り、自身の足りない点や、補う必要があると思う科目を履修することを薦めたい。

共通教育科目は各学科の専門科目では学ぶことのできない科目ばかりである。積極的に自分自身を見つめ直し、学んでいってほしい。

3) 共通教育科目5つの「学習成果」

- I 専門分野に必要な基礎知識あるいは専門分野に対する複合的な視点を確立するための一般的知識・教養を修得する。
- II 現代社会における国内外の諸問題を検討し、それを基に問題解決を構想するなど視野の広い視点を身に付ける。
- III 人として、女性として、また社会を構成する一員としての教養や倫理観を養う。

- IV 日本語および外国語の基本的運用能力を習得するとともに、他者と共感的に意思疎通する技能を高める。
- V これからの社会生活に必要な健康・体力を維持・向上する知識と能力を養う。

4) 学習成果の5つの指標と短期大学ディプロマ・ポリシーとの関連性

3) に示した共通教育科目5つの「学習成果」を以下のように略記する（I～Vの順番通り）。

- 1. 知識・教養
- 2. 視野の広さ
- 3. 豊かな人間性
- 4. コミュニケーション能力
- 5. 健康・体力

短期大学のディプロマ・ポリシーは、以下となっている。

「教育目標」に示した「愛し合い助け合う態度と意欲、実践力」や「確かな学識とすぐれた実践能力」を身につけ、「社会への積極的な貢献」を行う姿勢を重視し、各学科のディプロマ・ポリシーに基づいて卒業の認定、学位も授与を行う。

上記に示されたポリシー中で、共通教育に関連した項目を以下のように略記する。

DP①：愛し合い助け合う態度と意欲、実践力

DP②：確かな学識

DP③：すぐれた実践能力

DP④：社会への積極的な貢献

以下の5) カリキュラムマップでは、これらの関連性も合わせて表記する。

